



## 第66回学術集会 注意事項

- 会場** 神戸ポートピアホテル、神戸国際展示場、神戸国際会議場
- 会期** 2019年5月30日(木)～6月1日(土)
- 会長** 西脇公俊(名古屋大学大学院医学系研究科 麻酔・蘇生学教授)
- テーマ** Professionalism

本学術集会の事前予約は、①コンビニ決済:4月25日(木)正午、②クレジットカード決済:5月8日(水)正午 まで行っております。日本専門医機構認定講習(専門医共通講習、麻酔科領域講習:リフレッシャーコース)、共催セミナーの事前予約も行っております。その他、事前予約をしていただくと当日受付時間が短縮されます。是非ご利用ください。学術集会に関する詳細はホームページをご確認ください(<http://www.congre.co.jp/jsa66/>)。

### ▶ プログラム、抄録、アプリについて

プログラムタイムテーブルは第66回学術集会HPよりご確認ください。  
抄録は会員専用HPに4月下旬に公開、専用アプリは5月中旬に公開予定です。  
アプリダウンロードなどの詳細は第66回学術集会HPをご確認ください。

### ▶ 学術集会参加申込詳細

#### 事前予約について

- 事前予約期間:2019年2月15日(金)17:00開始～
  - ・コンビニ決済:2019年4月25日(木)正午 締切
  - ・クレジットカード決済:2019年5月8日(水)正午 締切
- 事前予約参加費:15,000円(当日申込の場合は17,000円)
- 専門医共通講習、麻酔科領域講習(リフレッシャーコース)1講座につき1,000円
- 事前予約済みであっても、会期中に必ず受付にお越しいただき、単位登録のための参加登録を行ってください。参加登録を完了されない場合、演者として講演した事実があり、参加費の支払いがあっても、参加単位・発表単位は付与されません。
- 事前予約済みで当日不参加及びキャンセルの場合、返金はいたしません。

#### 会期中の参加登録について

- 会員の方は、会員カードを持参して、参加登録受付にお越しください。  
学術集会参加登録は6月1日(土)16:00に終了します。
- 会員カードをお忘れの場合、仮カードを発行します。仮カードに関する注意事項は「仮カードについて」の項目をご覧ください。
- 以下の時間内に参加登録を受付します。
  - ・5月29日(水)12:00～19:00 神戸国際展示場1号館1F
  - ・5月30日(木)7:30～19:00 神戸国際展示場1号館1F
  - ・5月31日(金)7:30～18:30 神戸国際展示場1号館1F
  - ・6月1日(土)7:30～16:00 神戸ポートピアホテル 本館B1F「和楽」
- ※専門医共通講習、麻酔科領域講習(リフレッシャーコース)の追加・変更は該当コース開始前までに当日受付ブースでお済ませください。
- ※学術集会初日の5月30日(木)当日は、大変な混雑が予想されます。5月29日(水)の受付をおすすめいたします。
- ※受付には会員カードが必要です。予め準備の上(無い場合は当日仮発行)、案内表示に従って所定の受付窓口にお進みください。
- 当日申込の場合、券売機での支払完了時点で、参加登録完了となります。券売機でのお支払い方法は現金またはクレジットカードとなります。
- 参加登録時に写真付き身分証明書の提示が必須となります。

#### 日本専門医機構認定 専門医共通講習・麻酔科領域講習(リフレッシャーコース)について

- 事前予約申込み、または当日受付での申込みの定員制です。
- 専門医共通講習の受講に1,000円かかります。
- 受講により単位が取得できます。尚、受講出来なかった場合も後日公開されるe-learning(1講義3,000円)で受講と単位の取得が可能です。
- 受講単位:1時間あたり=1単位、座長単位:1時間あたり=1単位、演者単位:1時間あたり=2単位
- 単位の反映は、会期終了後1ヶ月程度を目安に「マイページ」に反映されます。受講時間確認にお時間を頂戴いたしますので、予めご承知おきください。

#### 医学生・臨床研修医(初期)招待企画

- 麻酔への理解を深めていただくことを目的として、医学生・臨床研修医(初期)を学術集会に招待する企画を例年実施しています。参加必須プログラムへのご出席により、無料で学術集会参加が可能です。
- 会員による完全事前予約制申込(紹介制)となります。
- 当日の申込みは出来ません。
- 非会員の医学生・臨床研修医(初期)を対象とします。会員・各施設の受け入れ留学生、演題発表予定者は対象外となります。会員1名につき5名まで招待できます。
- 一部プログラム(予約制の専門医機構認定講習、ICD講習会)は、会員ならびに有料参加者の席確保を優先するため、見学、立ち見であっても入室頂けません。
- 事前申し込みの受付期間、詳細、注意事項につきましては第66回学術集会ホームページをご確認ください。

#### 入場管理について

- 共催セミナーを含む全講演会場(オーラル発表会場)は入口で会員カードをかざして入退場確認を行います。入場時と退場時に必ず確認しますのでPC端末にタッチしてください。優秀演題ポスター掲示・ポスター・ポスターディスプレイスカッションではカードは不要です。
- 日本専門医機構認定講習会は、入場退場の記録管理が厳密に求められます。単位付与条件は1時間=1単位、講演の開始から終了までです。
- 会場内では、必ずネームカードと共に会員カードを身につけてください。
- 招待講演者を除く全ての参加者は参加登録が必要です。会員カードをお忘れの場合は、仮カードを受付で発行してください。詳細は仮カードについての項をご参照ください。

#### 共催セミナーについて

- 事前予約者は開始時間までに会場にお越しの上、会員カードをかざし、会場にご入場ください。
- セミナー開始後、不参加の場合は事前予約が自動的に予約取り消しとなり

ますので、予めご了承ください。

- 事前予約期間内に満席となったセミナーも当日空きがあれば、適宜案内させていただきます。会期中は、共催セミナーの予約受付は行いません。

#### ▶ 仮カードについて

- 会員カードをお忘れの方は仮カードを有料(1回発行ごとに1,000円)で発行いたします(会員でない場合は無料発行)。
- 2019年3月までの入会者、及び4月8日(月)時点で入金を確認できている再発行申込者には、4月下旬から5月上旬に会員カードを送付します。4月9日(火)以降の再発行申込者は、当日受付で仮カード代(1回発行ごとに1,000円)をお支払いください。
- 2019年4月・5月の新入会者については、仮カード代は無料となります。
- 仮カードは、第66回学術集会でのみご利用いただけます。お帰りの際は、受付または回収BOXまでご返却ください。
- 会員カード・仮カードは、学術集会に関する申込情報を保持しております。参加登録、懇親会等の追加申込、専門医共通講習、麻酔科領域講習参加時には参加登録受付済みのカードが必要です。会期中は必ず携帯してください。

### ▶ 参加費について

#### ▶ 申込変更・返金について

- お支払いいただいた学術集会参加費、学術集会関連費用(有料コース参加費用、懇親会費用等)、年会費は、いかなる理由があっても返金はいたしかねます。
- 専門医共通講習・麻酔科領域講習は、残席がある場合は他コースへの変更が可能です。

#### ▶ 年会費請求について

- 事前予約または当日申込時に、2019年度までの年会費未納分を合わせて請求いたしますので、お支払いください。
- 学術集会前に既に年会費をお支払いいただいても、学会会期間近に支払われた場合は、会期中の受付で未納と表示される場合があります。その場合はお支払いは不要ですので、受付にお申し出ください。

#### ▶ 領収書発行について

- 事前予約でクレジット決済の領収書は事前予約システムからのみ発行できます。
- 事前予約でコンビニ決済の領収書は、コンビニで支払い時に返却される受領書を領収書に代えさせていただきます。
- 当日支払分の領収書は、券売機でお支払い時に、ネームカードと合わせて券売機から発行されます。
- 領収書は必ず保管いただきますようお願いいたします。紛失された場合は運営事務局(jsa@congre.co.jp)までご連絡ください。会期中会場での再発行は行いませんのでご了承ください。

### ▶ プログラム集・抄録について

- プログラム集は会期までに会員全員に発送いたします。抄録は会員専用ホー

ムページ上に公開いたします。プログラム集の当日配布はいたしません。(会員情報にご登録されている住所が最新のものか必ずご確認ください)

- 学術集会プログラムや抄録の閲覧が可能な携帯情報端末用アプリ(iPad、iPhone、Androidでご利用可)を開発いたします。プログラム情報は自由にアクセス可能ですが、抄録本文の閲覧にはパスワードが必要です。パスワードはプログラム集の「参加者へのご案内」のページをご確認ください。
- 抄録ホームページの閲覧が可能なURL付きプログラム集は、学術集会会期中、5,000円で販売いたします。

### ▶ ネームカードについて

- ネームカードはすべて受付にて当日出力となっております。
- 会場内では必ずネームカードの着用をお願いいたします。ネームカードがない場合、セッション会場への入場をお断りする場合がございます。

#### ▶ 専門医共通講習・麻酔科領域講習のテキストについて

- テキストはございません。概要は抄録をご参照ください。抄録は、HPおよび携帯情報端末用アプリから、閲覧が可能です。パスワードが必要となりますので、プログラム集の「参加者へのご案内」のページをご確認ください。

### ▶ 参加単位・発表単位について

#### ▶ 参加単位について

- 事前予約の有無に関わらず、会期中に受付で単位登録のための参加登録をされない場合、第66回学術集会の参加単位は付与できません。
- 集会当日参加証明書は発行いたしません。他学会提出用で参加証明書が必要な方は、学術集会終了後に運営事務局(jsa@congre.co.jp)までご連絡ください。
- 医学生・臨床研修医(初期)招待企画での参加者は、後日入会いただいても、第66回学術集会参加単位は付与されません。
- 参加単位付与対象者は入会手続きが完了した本学会会員です。

#### ▶ 発表単位について

- ご講演の事実に関わらず、会期中に受付で単位登録のための参加登録をされない場合、第66回学術集会の発表単位は付与できません。
  - 発表がされなかった場合、筆頭演者・共同演者ともに発表単位は付与されません。
  - 筆頭演者以外の共同演者が発表した場合であっても、発表単位は筆頭演者に付与されます。
- 注) なお、代理の発表者は共同演者に限ります。

### ▶ 学会時の新規入会について

- 当日入会申込み受付はございません。会期開催時点で、入会申請・審査結果通知受理・入会支払い手続きのすべてが完了していない場合は、非会員として参加ください。

## 麻酔博物館 特別展示「気化器の歴史」のご案内

麻酔博物館では、第66回学術集会会期中に麻酔博物館特別開館と併せ、特別展示(テーマ:気化器の歴史)を行います。今回の展示では、麻酔博物館の収蔵品に加わったばかりの「Junker's Chloroform Inhaler」および「McIntyre Collections」を初展示致します。

Junker's Chloroform Inhaler は、1872年に京都に招かれ、京都府立医科大学の礎を築いたお雇い医師Junker(1828-1901)の開発した麻酔器です。小型軽量で実用性に富み、Blow over techniqueという新しい手法が盛り込まれた同器は、世界中の麻酔科医により改良品が作られ、第二次世界大戦期まで使用されたとの記録があるほどの名品です。

McIntyre Collectionsは、カナダ、アルバータ大学の故McIntyre教授(1925-1998)が収集された、吸入麻酔薬気化器のコレクションです。McIntyre教授から松木先生に遺贈された同コレクションは、印西市立印

旆医科器械歴史資料館に寄付され保存されてきましたが、この度、松木先生のご希望により麻酔博物館に所属が移管されました。今回の特別展示では、同コレクションの一部を選抜して展示致します。

特別展示会場には、ドリンクや休憩コーナーも準備しております。ぜひ、この機会に麻酔博物館へご来館ください。

《開館日時》5月30日(木) 10:00～17:00

5月31日(金) 10:00～17:00

6月1日(土) 10:00～12:30

《場 所》日本麻酔科学会 神戸事務局内

最寄駅:ポートルライナー「医療センター」

(学会場最寄駅「市民広場」から神戸空港方面へ1駅)



## 2019年度支部学術集会開催日程

日程	学術集会名	会長	所属	会場
2019年9月14日(土)	北海道・東北支部第9回学術集会	川前 金幸	山形大学医学部麻酔科学講座	仙台国際センター
2019年9月7日(土)	関東甲信越・東京支部第59回合同学術集会	小森 万希子	東京女子医科大学東医療センター	京王プラザホテル新宿
2019年9月7日(土)	東海・北陸支部第17回学術集会	藤原 祥裕	愛知医科大学医学部麻酔科学講座	名古屋コンベンションホール
2019年9月14日(土)	第65回関西支部学術集会	上山 博史	関西労災病院	大阪国際会議場(グランキューブ大阪)
2019年9月7日(土)	中国・四国支部第56回学術集会	齊藤 洋司	島根大学医学部附属病院	くにびきメッセ(島根県立産業交流会館)
2019年9月14日(土)	九州麻酔科学会第57回大会	山浦 健	九州大学病院	アクロス福岡

### ▽注意事項▽

#### 演題登録について

演題登録期間：

2019年5月1日(水)正午～2019年6月14日(金)正午 (全支部共通)

主な注意事項は以下の通りです。

- ・演題登録には、倫理的事項に関する同意及び利益相反の申告が必須です。詳細は支部学術集会ホームページをご確認ください。
- ・公正な査読を実現するため、抄録本文やタイトルには施設名を入れず、「当施設」といった記載としてください。
- ・応募締め切り後は、いかなる変更も一切認められておりません。
- ・類似内容での複数演題の応募は認められておりません。十分にご注意ください。

- ・支部学術集会一般演題の発表単位は日本麻酔科学会の会員に付与されます。
- ・非会員は発表時に会員であっても付与対象ではありません。発表単位が必要な方は演題投稿前に入会手続きが必要です。

5月までに入会をお済ませください。2019年5月入会の申込み期日は5月10日(金)です。

一般演題投稿方法・注意事項の詳細については、支部学術集会ホームページを確認してください。

#### 会員(IC)カード再発行について

会員カードをお持ちではなく、支部学術集会開催までに再発行を希望される場合、7月中旬までに再発行手続きをお願いします。

## 2019年度支部学術集会 会長挨拶

### 北海道・東北支部第9回学術集会 会長挨拶

山形大学医学部麻酔科学講座 **川前 金幸**

北海道・東北支部の麻酔科の皆さん、そして全国の麻酔科の皆さん、こんにちは。

さて、日本麻酔科学会会員数、並びに専門医数は増加しています。一方、学術集会(総会)においては、年々発表演題数が減少しています。一般演題の査読は厳しく、かつ利益相反、倫理規定などが厳密に行われるようになってきたためと考えられています。これは時代の流れであり、聴集の方々にはより優れた演題発表を提供できるという意味でいい傾向かも知れません。

一方、演題数の減少の原因として、日本全国の手術件数は増加傾向にあり、麻酔科医にとって臨床業務がかなり苛酷になっており、研究に時間を割けないことも一因と考えます。ある程度の余裕がないと研究もままならないと思います。しかしながら、集中すべき時とリラックスする時とのオンとオフを明確にした仕事の進め方が重要となってきます。

最近の脳の研究では「ひらめき」は、リラックスしている時、入浴してい

る時など何も考えない時に一瞬、脳が活性化し、新たな発想、アイデアに出くわすと考えられています。私たち麻酔科医も、日々の臨床その他の業務に集中した後、帰路に着いた時、シャワーでリラックスしている時など、研究のアイデアが浮かぶかもしれません。支部会でも、「ひらめき」を重要視し、サプライズ的な、意外な、面白いアイデアに富む、発表を期待したいと思います。

ところで、東北地方の麻酔科医の数が極めて少なく問題になっております。仲間を増やすためにも支部会が中心となってリクルートを積極的に行いたいと思います。学生、研修医を対象とした支部会内での企画も検討したいと考えています。今年は東北の地ということで関係各位の利便性を考慮し、仙台で開催することにしました。関係各位の皆様への企画に関するご要望などございましたらご連絡いただければ幸いです。

### 関東甲信越・東京支部第59回合同学術集会 会長挨拶

東京女子医科大学東医療センター **小森 万希子**

日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第59回合同学術集会を担当させていただく東京女子医科大学東医療センターの小森万希子です。学会のテーマは「未来への架け橋」といたしました。日本専門医機構による新専門医制度が始まり、麻酔科応募者は基本領域の中でも多い部類であります。質の高い麻酔科医を育てるために将来の架け橋になるような内容を用意したいと思います。講演内容は周術期の基本的なことを教育する内容を用意するとともに、新しい話題にも目を向け、常勤ならでは周術期管理に優れた麻酔科医の育成を目指した内容の構成を考えております。周術期の患者の安全を守るための知識の習得、再確認ができれば幸いです。知識を継承し、次世代を担う麻酔科医を育てることは非常に重要です。

特別講演として、東京女子医科大学大学院医学研究科重症心不全制御学分野教授、心臓血管外科学教授、同大学東医療センター心臓血管診療部教授(兼務)の布田伸一先生にお願いしました。先生は日本循環器学会心臓移

植適応検討委員会委員長をされています。「心臓移植の適応から術後長期管理まで」という題で、心臓移植の適応決定、待機管理、移植心病態、慢性期間問題などについてご講演いただきます。

専門医共通講習、麻酔科領域講習、優秀演題セッション、一般演題と企業共催セミナーを予定しています。地方会は若い先生方の研究および臨床経験の発表の場でもありますので、多くの先生の学会デビューを歓迎しております。

2019年度より開始する日本専門医機構による認定制度更新の開始に伴い、大勢の先生方の参加が予想されます。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、専門医更新に必要な単位の取得をできるだけ行っていくだけという、そして混乱を招かないようスタッフ一同努力して参りますので、皆様方のご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。残暑の厳しい東京での開催ですが、熱いディスカッションを期待しております。

## 東海・北陸支部第17回学術集会 会長挨拶

愛知医科大学医学部麻酔科学講座 藤原 祥裕

2019年9月7日(土)、名古屋コンベンションホールにて日本麻酔科学会東海・北陸支部 第17回学術集会を開催いたします。会場はささしまライブ24グローバルゲート内にございまして、あおなみ線でJR名古屋駅の隣、ささしまライブ駅に隣接しており、交通の便も良好になっております。2017年10月に開業したばかりの施設ですので、麻酔関連学会が開催されるのは今回が初めてではないかと思われまます。若干の不安もございしますが、皆様の利便性を第一に考えた運営を心掛けたいと存じます。

現在、学術集会の開催に向けプログラムの準備を開始したところございしますが、麻酔科領域講習、専門医共通講習をできる限り数多く設定し、麻酔科専門医新規申請・更新に必要な単位の取得にお役立ていただくこと

を最優先とさせていただきます。その他、従来の学術集会の慣習に則って、ポスターによる一般演題発表、企業共催セミナーの開催などを予定しております。

学術集会開催の9月初旬、名古屋はまだまだ残暑厳しい季節かと存じますが、会場は長時間屋外を歩かなければならないような立地にはございませので、どうぞ皆様安心してお越しくござい。また、学術集会終了後は、リニア開業を控え急速に変貌を遂げつつある名古屋駅界隈で名古屋めしをご堪能いただければ幸いです。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 第65回関西支部学術集会 会長挨拶

関西労災病院 上山 博史

第65回日本麻酔科学会関西支部学術集会を2019年9月14日(土)に大阪国際会議場(大阪市北区中之島)で開催させていただきます。

近年、麻酔の概念は、麻酔深度理論からバランス麻酔に大きく変化しましたが、バランス麻酔に基づく麻酔管理は未だに浸透していません。今回、麻酔深度の概念の変遷とバランス麻酔の要素である鎮静について関西医科大学の萩平哲先生に、オピオイドによる鎮痛について京都大学の福田和彦先生に講演をお願いしました。2つの講演から麻酔の基本である全身麻酔の概念について、見直していただく予定です。

臨床において症例の振り返りとフォローアップは重要な事項ですが、多忙な業務の中でおろそかになりがちです。術中問題点の把握と術後フォロー

アップについて東京慈恵会医科大学の上園晶一先生のご講演を予定しています。

医師の経験や慣習による治療を排除し、1990年代に提唱された科学的根拠に基づく治療法の実践、evidence-based medicine (EBM) は、医学の常識となりましたが、誰もが信じたエビデンスの中には疑問視されるものが出ています。EBMとそれを支えるメタ分析の抱える問題点について、京都府立医大の溝部俊樹先生に講演していただきます。

専門医セミナーとして、特定看護師の麻酔業務での役割について厚生労働省の佐々木健先生にご講演をお願いしました。多くの先生方のご参加をお待ちしています。

## 中国・四国支部第56回学術集会 会長挨拶

鳥根大学医学部附属病院 齊藤 洋司

2019年度日本麻酔科学会中国・四国支部第56回学術集会の会長を務めさせていただきます鳥根大学医学部麻酔科学の齊藤洋司です。2019年度日本麻酔科学会中国・四国支部第56回学術集会の開催にあたりましてご挨拶を申し上げます。

今回の学術集会は「発信する麻酔科学」をメインテーマとして、2019年9月7日(土曜日)、松江市の「くにびきメッセ(鳥根県立産業交流会館)」にて開催いたします。

麻酔科学は、手術における麻酔全身管理を基盤に集中治療医学、救急医学、ペインクリニック・緩和医療学へとその活躍の場を広げてきました。いずれの領域においても「全身管理」というキーワードがその根幹にあります。医療の専門分化が進む中、麻酔科医は、循環を、呼吸を、内分泌代謝を、あらゆる領域を統合し俯瞰的に全身管理を担うという特別な専門性を有していま

す。麻酔科医の活躍の場は手術室を超え、麻酔科医の全身管理力をさまざまな医療現場で発揮することへの期待は高まるばかりです。一方、Monitored Anesthesia Care, Intensive Care, Emergency Care, Palliative Careに示されるように、麻酔科医の担う全身管理の特徴は、生体機能の全身管理のみならず、ケアという視点、Whole Person Careとも言える視点での全身管理にあります。ケアを支えるのはコミュニケーションとチームワークです。すべての麻酔科領域でコミュニケーション力とチームワーク力を発揮し全身管理のマネージャーとしての活躍、そして私達が培ってきた力を安全、安心な医療の確立のために発信していくことが麻酔科医に求められている、その思いから「発信する麻酔科学」というテーマとしました。中国・四国支部内外からたくさんの方をお迎えして、実り多き学術集会となりますよう準備を進めております。何卒、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 九州麻酔科学会第57回大会 会長挨拶

九州大学病院 山浦 健

この度、九州麻酔科学会第57回大会を担当させていただきます。

平成生まれの麻酔科医の登場に衝撃を受けたのも束の間、平成から年号も改まり新しい時代の幕開けの記念すべき年の学術集会です。私自身も昭和生まれの平成卒業、まだまだ若手と思っておりましたがいよいよ昭和は遠きになりけりです。しかし振り返ってみると昭和に近代麻酔科学が日本に普及し麻酔科が外科から独立し、平成には麻酔科医の社会的認知度も上がり、誰もが知っている診療科へと成長しました。そしてこれからの新時代には臨床だけでなく研究面でも更なる社会的な役割を担う診療科へと成熟する必要があります。

第57回大会では、「新しい時代に向けて」というテーマでこれまでの麻酔科学の歴史を振り返ると共に、新しい時代に向けたメッセージを込められたらと思います。

新しい時代は、既に突入している「人類がこれまで経験したことの無い超高齢社会」において、医療福祉をどのように提供するか、その中で私たち麻

酔科医がどのように関わり、また先導していくかが重要になります。一方で、医療現場も含めて労働人口の減少の中でこれまでとは違った形での、artificial intelligence (AI)を含めた様々な医療技術が登場してくることでしょう。新しい時代がどのようなものになるのか、またどのような時代にしていくのかが問われる時です。

一方、麻酔科医自身も初めて高齢化の中に突入しています。定年退職後を含めて麻酔科医の働き方についても考えていく機会になればと思っています。

プログラムは例年と同様に特別講演、一般演題の他、専門医共通講習、周術期セミナーを予定しています。特に利便性の良い福岡市での開催ですので、専門医共通講習、周術期セミナーは多くの参加者が訪れる事と思えます。単に資格取得の為の講習だけでなく、参加する方々にとっても有意義な講習になるように工夫していきたいと思えます。

皆様どうぞご参加頂き、一緒に未来を語りましょう。





## 麻酔機器・器具故障 不具合情報について

安全委員会委員長 飯田 宏樹

本学会は、医療の安全性向上のため、麻酔関連機器の故障情報の収集と迅速な警告発信を行っております。2019年1月から2月までに、HPに掲載された注意情報は下記の通りです。

情報は以下のページに随時掲載しておりますので、会員の皆様におかれましては常時ご確認いただきますようお願い申し上げます。また、同様の事象が発生しましたら [anzen@anesth.or.jp](mailto:anzen@anesth.or.jp) までご連絡下さい。

### <故障情報掲載ページ>

日本麻酔科学会トップページ → 医療関係者の皆様 → 安全への取組み(各種調査・機器不具合情報・薬物依存)  
→ 麻酔機器・器具故障情報、薬剤情報、注意喚起

## アコマ麻酔システムPRO-NEXT+i 用手換気から自動換気への切り替え及び酸素供給の不可

### 製品名

アコマ麻酔システムPRO-NEXT+i

### 事象

用手換気から自動換気への切り換え操作を行ったが切り換わらなかった。また、酸素流量計調節ノブを回しても酸素が流れなかった。

### 原因

機器操作画面内の「MENU」ボタンによって「校正画面」を表示している状態で、麻酔器を使用していたため、同事象が発生し

た可能性がある。この「校正画面」表示中は自動換気への切り換えが出来ず、モニタ画面上でも「患者に使用中はこのメニューを実行しないでください。ベンチレーターは作動しません。」というメッセージが表示され、校正対象となるガス以外のフレッシュガスは遮断される。

### 対応

フレッシュガス供給に関して異常が見られた場合、モニタディスプレイ上の表示、パイピングラインの接続を確認ください。

## GEヘルスケア・ジャパン社 TEC6 プラス気化器デスフルランの不良発生

※当事案は昨年12月号で中間報告をしたものです。GE社より最終調査結果報告書が届きました。

### 製品名

GEヘルスケア・ジャパン社 TEC6 プラス気化器デスフルラン  
使用年数3年(耐用年数7年)

### 事象

TEC6 プラス気化器デスフルランを使用し、低流量麻酔中に「NO OUTPUT」のインジケータが点灯しアラームが鳴った。ガスモニター上、EtDes 24%、FIO2 18%が表示され、薬液量を示すバーが急速に低下した。デスフルラン投与を中止しセボフルランに変更した。その後、「NO OUTPUT」の点灯が消えたため再投与したところ、同様の事象が起きた。

### 原因

メーカーによる調査の結果、気化器の濃度設定ダイヤル回転弁の擦り合わせ部分全体に損傷があり、そのために麻酔ガスとフレッシュガスの流量調整に異常をきたしたと判明した。同様の事例は他施設からも報告されている。

### 対応

1. 損傷の発生防止  
使用にあたり以下の点に留意する。
  - ダイヤル操作はゆっくりと回す
  - 気化器の取り外しや移動をする場合、ダイヤル部分を持たずに行う
  - 使用中は麻酔ガス濃度のモニタリングする(取扱説明書1-3参照)
2. 「NO OUTPUT」アラーム発生時  
使用中「NO OUTPUT」アラームが発生した場合は、気化器ダイヤルをOFFの位置まで回し、以下の対処を行う。
  - 麻酔剤レベルが20mL未満まで低下 → 麻酔剤を補充する
  - 電源障害が発生して10秒経過 → 電源ケーブルの接続を確認する
 以上の対処をしても「NO OUTPUT」アラームが止まらない場合は使用を中止する。

## 2019年度 第58回麻酔科専門医認定試験 実施予定について

教育委員会・認定審査委員会

2019年度第58回麻酔科専門医試験の  
実施予定をお知らせいたします。

### 試験日

筆記試験：2019年9月29日(日)  
口頭試験・実技試験：2019年10月4日(金)～  
2019年10月6日(日)

### 筆記試験会場

2会場で実施(東京会場・神戸会場)  
◆TOC有明(東京会場) ◆神戸ポートピアホテル(神戸会場)

### 口頭試験・実技試験会場

1会場(神戸会場)で実施  
◆神戸ポートピアホテル  
\*日程・会場に変更がありました際は、学会HPにてお知らせいたします。

### 申請受付期間

2019年5月1日(水)～2019年6月30日(日)  
申請方法など詳細は、学会ホームページでご案内しておりますのでご確認ください。

## 2019年度 第9回定時社員総会の開催について

2019年度 第9回定時社員総会を以下の通り開催いたします。

### ◇開催概要◇

日時：2019年5月29日 14時00分開会  
場所：神戸ポートピアホテル南館  
ポートピアホール 第1会場

議案：第1号議案 2018年度庶務報告に関する件  
第2号議案 2018年度事業報告に関する件  
第3号議案 2018年度会計報告に関する件  
第4号議案 定款施行規則等の制定・改廃に関する件  
第5号議案 2019年度社員等に関する件  
第6号議案 その他

出席者：2017年度2018年度代議員

【注意】2018年度に実施された選挙で選任された方は、出席対象ではありません。  
※総会終了後に、第5号議案で承認された名誉会員の推戴式、ならびに学会賞授与式を執り行います。  
※詳細に関しましては、弊会会員HPでご確認ください。

## 麻酔科認定病院におけるJSAPIMS(麻酔台帳)の 導入必須化に伴う今後の対応事項について

JSAPIMS(麻酔台帳)の新しいインストーラー (Ver.6)を2018年10月31日にリリースいたしました。

各施設で今後ご対応いただきたい事項等をJSAPIMSヘルプデスクにまとめております。

ご確認くださいませようお願い申し上げます。

操作方法やその他詳細の問い合わせについては、日本麻酔科学会HP JSAPIMSヘルプデスクのお問い合わせよりご連絡ください。

## ホームページリニューアル報告

広報委員長 足立 健彦

皆さんお気づきのことと思いますが、このニューズレターがお手元に届くころには日本麻酔科学会のホームページがリニューアルされています。長年使用しているうちにいくつかの問題が出てきており、昨年私が広報委員長に就任した時に理事長から要望された喫緊の課題がホームページのリニューアルで、この2年間広報委員会として総力をあげて行ってまいりました。これまでの日本麻酔科学会のホームページにおける問題として広報委員会が認識したのは主に以下のような点です。第一にスマートフォンで閲覧しにくいということです。前のホームページが作成されたのはスマホへの対応が意識されるような時代ではなかったため致し方ない部分があります。第二に麻酔科学会のホームページに会員がアクセスする大きな目的は会員が必要な情報、特に専門医等の認定、更新等に関する情報などを得ることだと思っておりますが、どこに何があるのかが非常にわかりにくく、目的のページに行き着くのが困難であることです。第三にホームページにアクセスするのは会員だけでなく、一般の方、医療関係者の方、学生・研修医の方、などがあるわけですが、それぞれの入り口に当るトップページのアイコンが細かく分かれすぎていて、会員以外の方にとって不親切な構造になっていることです。以上のような問題点を踏まえて、ホームページをリニューアルするのに最初に決定しなければいけなかったのが、これまで蓄積された情報をどのように扱うかでした。「マイページ」という名前でもログインできる日本麻酔科学会の会員管理システムはこの数年かけて整備されてきた会員情報の一元化されたデータベースであり、ホームページ上に入り口は置きますが、全く別個のシステムとして存在しています。したがって、見栄えがよく、革新的なホームページに一気に刷新するためにはこれまでの情報を「アーカイブ」として全く別に切り離すべきだと

いう考えもありました。日本麻酔科学会のホームページには多くの委員会やワーキングが長年かけて蓄積してきた膨大な情報が含まれており、これをあらためて新しいホームページに移設するにはかなりの手間と時間がかかるからです。しかしながら広報委員会としては少々手間がかかっても、これまでの情報のうち必要と思われるものに関してはやはりホームページ本体からアクセスできるようにすべきだと考えました。そこで、サイトマップ構築に時間をかけ、それぞれの記事の内容に関しては、各々の委員会等に必要最小限の改訂をお願いして、これまでの情報を生かすホームページとすることにしました。第一のスマホ対応の問題は、現代のホームページ作成の技術からは容易で、PC、スマホ、タブレットで同じサイトがそれぞれで見やすいデザインで閲覧できるようになっています。次に、第二の必要な情報へのアクセスを改善する方法ですが、できるだけわかりやすくサイトマップを作成したつもりではありますが、どうしても見つけにくい情報は出てくるものと思います。ただ、最も問題になる専門医等の認定、更新に関する情報に関しては、会員、医療関係者のページに「各種認定情報・資格申請」という共通のアイコンを作成し、どちらからアクセスしても、まず同じページに行くようにしました。この共通ページからご自分の必要とする情報を見つけるようにして下さい。また、検索機能を充実させておりますので、分からなくなった時はサイト内検索をご使用下さい。第三の問題に関しては、トップページを見ていただければわかるように、大きな入り口を「一般の皆様」「医療関係者の皆様」「会員の皆様」「学生・研修医の皆様」の四つに絞り、常に上段に表示してアクセスを容易にし、それ以上は増えないようにしております。以上のような方針でホームページのリニューアルを行いました。今後ともさらによりよいホームページにしていけるために、どうぞ会員諸氏からご意見をお寄せ下さい。







# 北から南から

## 効率と人情

関東労災病院 小坂 康晴

最近の喜びは…手術室に入室される不安な顔の方々を、少しでも笑顔に変えられたと思えた時である。術前に外来や病室で笑顔を交わし、短時間で麻酔科医としての信頼を勝ち取ったから？手術麻酔直前の再会に少しでも安堵の笑顔を見せてくれる…のだろうか？

多くの病院で手術件数増加に伴い効率的な麻酔科運用の実現が急務である。当院のある神奈川県川崎地区、特に武蔵小杉周辺は人口増加も著しく病院経営のエンジンの役割として手術件数増加は免れない。そのため当院を含め多くの病院で、術前外来の運用や術後回診等の一貫した周術期管理が効率的に行なわれている。麻酔科医としての年数を重ねると？効率的麻酔科運営上？麻酔を担当する患者に手術当日ご挨拶することも少なくない。これでは、なかなか安堵の笑顔は見られない。

自分が麻酔研修でお世話になった北里大学の諸先輩方には“麻酔科医は第一印象が大事だ、一瞬で患者の信頼・心を勝ち取ってこい！”とよく言われた。朝から激務をこなす当直、そして翌日の夜まで36時間労働に誰も疑問を持たなかった時代の教育である。今ではこのような時代を悪と評するが、夜中の人手のいない時に医師として多くの経験を積み飛躍的に成長できた時期でもある。

働き方改革がやっと医療の現場にも聞こえ始めた。主治医制度の再考、チーム医療、シフト制導入、ママさん麻酔科医導入による時短勤務の理解も進んでいる。麻酔科医の働き方もスマホの進化と同様にダイナミックに変化しなければいけない時代である。安堵の笑顔に喜びを感じながら、麻酔科医の負担軽減ができるように効率的にそして一人の人間として、これからも仕事をしていきたいと思う。

## 留学生活そして卒業後20年

山口大学麻酔蘇生学講座 原田 郁

4年前、外科医である夫の海外留学に家族で同行することになり、半年間アメリカ合衆国フロリダ州ジャクソンビルで過ごした。夫は生活のセットアップのため2週間先に渡米し、私と当時5歳、3歳、6ヶ月の3人の子供と義父母で、宇部空港から羽田、成田からシカゴ経由でジャクソンビル空港まで約24時間の長旅だった。機内では寝相の悪い長男が座席から落ちそうになるのを阻止したり、末っ子の授乳をしたりと子供達の世話でほとんど寝られず、現地についても昼夜逆転の子供達に付き合わされ本当に辛かった。夜間の当直業務は出産してからの5年間はしていなかったが、一睡もできなかった当直明けにさらに心臓血管外科の麻酔を夜通し担当したときの疲労感を思い出した。義父母の子守と家事のおかげでまもなく体調は回復し新生活が始まった。

ジャクソンビルはフロリダ州の北東部にある都市だ。亜熱帯性の気候で夏はとて暑かった。車で2時間半ほどのオーランドにはディズニーワールド

やユニバーサルリゾートなど人気の観光地があり、私達も数回訪れた。さらに南のマイアミには当時イチローが活躍したマーリンズの本拠地があり、本場のメジャーリーグでイチローの打席を観戦することができた。他にもケネディ宇宙センターからのロケット打ち上げを見たり、セブンマイルブリッジを通りアメリカ本土最南端の地キーウエストを訪れたり……。たった半年間であったが完全に仕事から離れ家族でゆったりと貴重な時間を過ごせた。

昨年山口大学麻酔蘇生学講座は開講50周年の記念の年であった。祝賀会ではお世話になった先輩たちと再会でき、また開講当時から現在に至るエピソードに触れ、一同門会員としてこの講座に所属できることを心から嬉しく思った。そして今年卒業20年、私にとって節目の年である。思えば私はよき先輩、後輩にめぐまれ、留学中も日本人家族の方々に大変助けられた。多くのサポートがあり今の自分がいることをありがたく思う。これからも麻酔科医として少しでも成長していけたらと思う。

## 交剣知愛

琉球大学医学部附属病院 渡邊 洋平

交剣知愛(剣を交えておしむを知る)という言葉をご存知だろうか。剣道の言葉で、あの人ももう一度稽古や試合をしてみたいという気持ちになること、またそうした気持ちになれるような稽古や試合をなささいという教を説いた言葉である。剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である、とその理念を謳っており、交剣知愛はまさにそれを実践するために必要な心構えと言える。

私が剣道を始めたのは小学校1年の頃で、もう30年も昔である。父の勧めで始めたのだが、小学校の体育館での稽古は夏蒸し暑く冬冷たく、打たれば痛く先生は怖い。おまけにおさがりの防具はひどく臭い。小学生が好んで稽古に向かう筈もないが、嫌々ながら6年間続けた。中学校に入るとせっかく6年間やって来たのだからと辞めるのが勿体無くなりあと3年、高校でもあと3年、結局大学卒業まで続けた。沖縄に来てまで猛暑の中、まさか剣道をするとは小学生の私は想像もしていなかった。

それでも医師になってからは仕事の忙しさを理由に竹刀を振ることがほとんどなくなってしまった。30代も折り返し体型だけは立派なおじさんに近づいた。両手で掴める丸いお腹が、引き返すなら今しかないよと語りかける。タイミングよく学生時代にお世話になっていた医師剣友会の先生から稽古のお誘いを頂いた。剣道を始めてちょうど30年の節目の年、もう一度基礎から見直し剣道を再開しようと思った。が、体は重くすぐに始めては怪我をすともまずはジョギングから開始。徐々に竹刀を振り始めて約半年、少しずつ動けるようになって来た。先日、12年ぶりの昇段審査に臨み四段に合格した。前出の先生から、剣道の段位というのはそれを取得して終わりではなく、むしろ取得した後にその段位に見合った剣道ができるように更なる修練が求められる、とありがたいお言葉を頂いた。その言葉を心に秘め今後も精進しようと思う。

2020年4月ここ沖縄で全日本医師剣道大会が開催される。全国から来られる多くの先生方と剣を交え互いに剣道を発展させていければ何より幸せである。

## 医師賠償責任保険の送付、 ならびに医師賠償保険適用開始時期と入会時期について

弊会会員向けの医師賠償責任保険に関する更新のご案内書類については、2019年2月頃に会員の皆様へ送付しておりますので、各自お手続きをお願いいたします。

※ 2019年4月以降に入会した場合、保険は入会後の適用となりますので、4月1日からの適用はできません。弊会会員向けの医師賠償責任保険は入会後に適用されます。

上記以外のその他保険に関する詳細事項・お問い合わせにつきましては、ご案内しております各保険会社にお問い合わせください。

年会費について

2019年度年会費のお支払いが可能となりました。支払期日は2019年9月30日です。また、2018年度年会費をまだお支払いでない方は、至急お支払ください。会員専用ページ「プロフィール」内、左側メニューボタン「年会費支払詳細・領収書発行」より画面に従ってお手続き下さい。

領収書について

会員専用ページ「プロフィール」内、左側メニューボタン「年会費支払詳細・領収書発行」より画面に従って出力下さい。(1回のみ出力可能です)
※年会費以外の領収書発行については左側メニューボタン「会費以外の領収書発行」より可能です。

会員 (IC) カード発行について

会員 (IC) カードは、年次学術集会 (毎年5月もしくは6月)・支部学術集会 (毎年9月)に間に合うように発行しております。会員 (IC) カードは年次学術集会、支部学術集会での参加登録 (チェックイン・会期中に1回必須)、単位を取得される講習の入退室に必要です。紛失された方は会員専用ページ「マイページ」内「プロフィール」、左側メニューボタン「カード再発行申請」からお手続きを行ってください。第66回学術集会に間に合う会員 (IC) カード申込期日は 2019年4月8日 (月) でした。期日までの再発行申込者及び入会者には4月下旬～5月上旬に発送いたします。期日以降の再発行申込者及び入会者には8月下旬に発送する予定でございます。

学術集会で麻酔科領域講習、共通講習受講のため、仮会員カードを臨時で発行される場合には、会場内に設けております、仮カード発行ブースで有料発行のうえ、ご参加ください。会期終了後に返却をお願いいたします。
※会期中に返却された場合、再発行には、再度発行代金をお支払いいただくこととなりますのでご注意ください。

入会について -ご周知下さい-

毎月10日を期日とし、入会申請を受け付けております。入会申請には、①WEB申込及び②書類の提出が必要となっており、①・②どちらも完了している方を対象に入会審査を進めております。審査後、同月15日付けで入会承認結果を申請者にメールで通知いたします。承認された方はメールに記載されたURLから、期日までにクレジット決済で年会費を入金して頂くことになり、入金完了時点で会員となります。

※入会スケジュールは、変更となる場合がございます。詳細につきましては、弊会HP「入会・会員情報登録・更新」をご確認ください。

※一旦退会后、再度会員になる際も前述の手続きで入会申込を行って下さい。直近の退会時点で未納年会費がある場合、こちらと合わせて入会年度の年会費をお支払い頂き、再入会となります。ただし、専門医等の認定資格は再入会しても復活しません。再度認定医から取得し直すいただく必要があります。再入会と新入会の申請ページは異なりますので、

ご確認ください。
※学術集会の会員として単位付与される一般演題応募、参加登録、事前予約等のシステム利用は、申し込み時点や参加時点で入会の手続き (申請～支払い) を完了された方に限ります。学術集会中に入会受付は行っておりません。

編集後記

News Letter 2019年第2号をお届け致します。本号では、「第66回学術集会」、「2019年度支部学術集會会長挨拶」、「麻酔機器不具合情報」、「専門医試験」など、重要なお知らせがありますのでご一読ください。「麻酔博物館特別展示」「北から南から」も興味深いものと存じます。足立広報委員長よりの報告にありまますように、この4月から日本麻酔科学会ホームページが一新されております。従来に比べて、膨大な情報が見やすく、検索しやすくなったものと思います。まだまだ不十分なところがあるとは思いますが、お気づきになりましたことがございましたら、広報委員会までご意見をお願い致します。

例年、4月は学校や職場にニューフェース登場の月で、1年で最も晴れがましい、うきうきする季節かと思われます。麻酔科学会ホームページも新しく美しくなり、大変喜ばしく感じます。しかしながら、反面、極めて個人的な感想で申し訳ありませんが、この4月は、大変悲しい苦い思いのする新年度開始となりました。筆者の属する香川県におきましては、麻酔科専門研修プログラム応募者が皆無であり、香川大学麻酔科にはニューフェース登場がございませんでした。この苦い経験を基に、気持ちを新たに、新人獲得競争(狂騒?)に精力(および金力)を傾注していきます。香川県は、人口当たり麻酔科医数が第1位なのだそうですが、彼ら彼女らはどこに隠れているのでしょうか?当県に麻酔科医が十分にいるのであれば、県から、県内の病院から、当科に麻酔科医を(非常勤でもいいから何とか)派遣してくれと、しつこく言われぬはずです。トップがこの状況ですので、2位以下は、もっと厳しい状況なのでしょうから、贅沢を言ったらバチがあたります。一度でいいから、もう新人なんぞいらん、学生・研修医の勧誘なんぞいらん、と言ってみたい…、春の夜の夢です…。

(広報副委員長 白神豪太郎)



公益社団法人 日本麻酔科学会
NEWS LETTER

2019 Vol.27 no.2
http://www.anesth.or.jp
2019年4月20日発行
©Japanese Society of Anesthesiologists

本誌掲載記事の著作権は全て(公社)日本麻酔科学会に帰属いたします。無断複製・転載を禁じます。

◆編集・発行 (公社)日本麻酔科学会 広報委員会

[広報委員長] 足立 健彦
[広報副委員長] 白神 豪太郎
[広報委員] 加藤 里絵、渋谷 博美、橋本 悟、藤中 和三、萬 知子
〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町1丁目5番2号
神戸キメックセンタービル3階
TEL: (代表) 078-306-5945
(認定関連問合せ専用ダイヤル) 078-335-6078
FAX: 078-306-5946

◆制作 株式会社杏林舎
〒114-0024 東京都北区西ヶ原3-46-10
TEL: 03-3910-4311 FAX: 03-3949-0230

